

資料提供

令和6年5月23日

課名：農業技術課

担当：柴山(しばやま)

内線：3556

直通電話：082-513-3559

令和6年度病害虫発生予察情報注意報第1号

令和6年5月23日

広島県農林水産局

【作物名】果樹全般（なし、もも、りんご、ぶどう、かんきつ等）

【病害虫名】果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

1 適用地域 県内全域

2 今後予想される発生量 多

3 防除時期 収穫期まで

4 根 拠

(1) 【累積誘殺数(チャバネアオカメムシ)】

チャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの各地点の誘殺数を5月上旬から調査しています。世羅郡世羅町では5月第4半旬の誘殺数が急増し、累積誘殺数（5月第1半旬から5月第4半旬）は、過去10年の平均の2.5倍となっています（表1、図1）。また、尾道市瀬戸田町では、過去9年の平均の3.1倍となっています（表1、図1）。

(2) 【越冬成虫数(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)】

チャバネアオカメムシについて、令和5年度の12月中旬から1月中旬にかけて、県内33地点で果樹園地近隣の里山から採取した落ち葉から、越冬成虫数を調査しました。捕獲地点率は、過去10年の平均の2.0倍となっています。また、平均虫数は、過去10年の平均の2.8倍となっています（図2）。

クサギカメムシについて、令和5年度の10月上旬から世羅郡世羅町にトラップを計4台（2地点、各地点2台）設置し、越冬成虫数を調査しました。平均虫数は、過去3年の平均の5.4倍となっています（図3）。

これらのデータから、今後の発生量は多く、県内のほ場において果樹カメムシ類の被害が急激に増加する可能性が高いと判断しました。

5 防除上の注意事項

(1) 果樹カメムシ類（写真1）は移動性が高く、飛来は園地間差が大きいいため、夕方または早朝にはほ場周辺も含めて巡回し、ほ場への飛来が認められたら早急に防除してください。

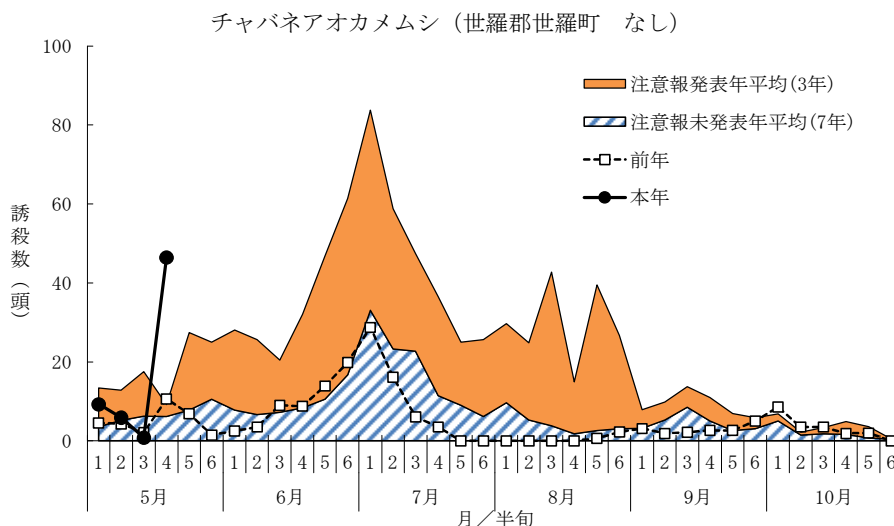
なお、果樹カメムシ類は夜行性であるため、薬剤防除の時間帯としては、夕方が最も効果的です。

- (2) 果樹カメムシ類の加害（写真2および3）は長期間に及ぶため、継続してほ場の観察に努め、防除実施後も園地への飛来が認められる場合には、追加の防除を実施してください。
- (3) 有袋栽培では、袋掛け作業を早めに実施します。なお、袋をかけても、果実が肥大して果実袋に密着すると、袋の上から吸汁されることがあるので注意してください。
- (4) 合成ピレスロイド系の農薬は天敵への影響が大きいため、連用するとハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなるので注意してください。
- (5) 黄色灯はチャバネアオカメムシに対して忌避効果があるため、設置している園では、薬剤防除を徹底した上で、早期に点灯してください。
- (6) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。
- (7) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）」を参照してください。

表1 チャバネアオカメムシ誘殺数(世羅郡世羅町、尾道市瀬戸田町)

	月	5月				
	半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	計(頭)
世羅	本年	9.3	5.9	0.8	46.4	62.4
	平年(10年)	4.5	6.2	8.2	5.4	24.3
	注意報発表年平均(3年)	9.8	7.6	11.2	3.0	31.5

	月	5月				
	半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	計(頭)
瀬戸田	本年	3.1	6.6	4.8	6.4	20.9
	平年(9年)	0.9	1.4	2.3	2.2	6.8
	注意報発表年平均(2年)	1.1	1.0	0.9	3.9	6.9



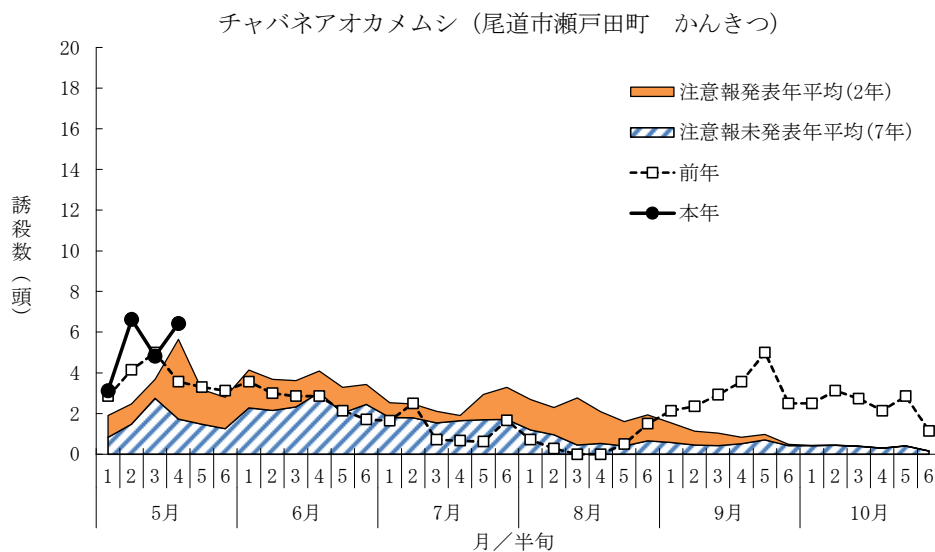


図1 チャバネアオカメムシ誘殺数の推移(世羅郡世羅町、尾道市瀬戸田町)

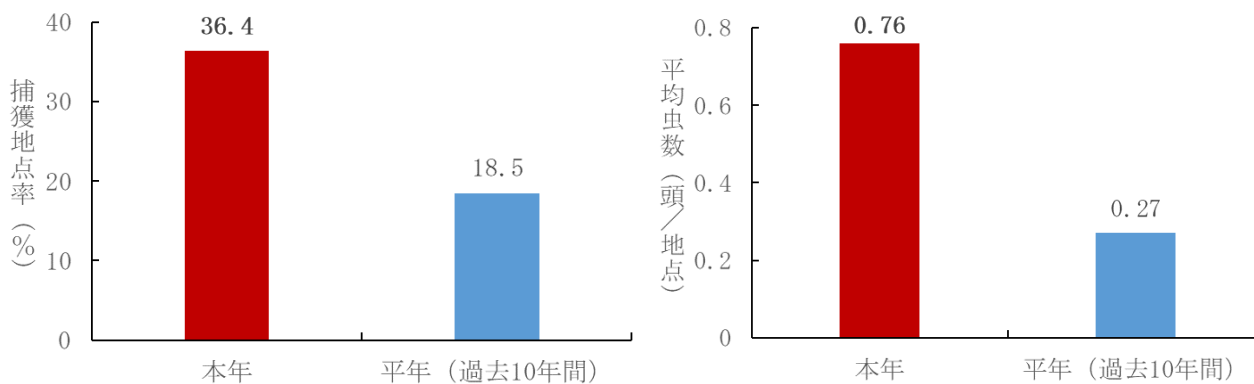


図2 チャバネアオカメムシ越冬量
(左：捕獲地点率、右：平均虫数)

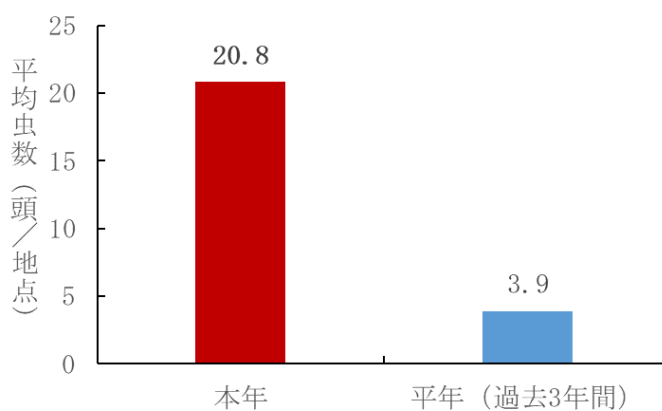


図3 クサギカメムシ越冬量



写真1 果樹カメムシ類 (左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)



写真2 果樹カメムシ類による被害果 (なし)



写真3 果樹カメムシ類による被害果断面 (なし)

この情報は、広島県公式ホームページ「ひろしま病害虫情報」に掲載しています。

掲載アドレス (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)



【お問い合わせ先】

- 農業技術課 (082-513-3559)
- 西部農業技術指導所 (082-420-9662)
- 県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部 (0846-45-1225)